

<よくあるご質問> 第6回近畿圏パーソントリップ調査について

皆様から寄せられたご質問を掲載しております。

ご質問	回 答
何のための調査か？	パーソントリップ調査は、昭和45年から10年毎に行われている交通に関する統計調査です。 近畿2府4県にお住まいの皆様の1日の動き（「どこからどこへ」「どのような目的で」「どのような交通手段で」など）を調査するもので、将来のまちづくりや交通計画などを検討するための基礎資料を得ることを目的としています。
調査結果をどう活用しているのか？	パーソントリップ調査データは、例えば以下のような検討の基礎資料に活用できます。 ・地域の路線バス利用者の特性や移動の実態を把握して、利便性の高い路線バス網のあり方を検討。 ・鉄道駅利用者が駅に到着するまでに利用した交通手段などを把握して、鉄道駅周辺の計画（駅前広場計画など）を検討。 その他にも自転車利用の計画や駐車場・駐輪場の計画など様々な計画を検討するために活用できます。
調査はどこが実施しているのか？	国土交通省近畿地方整備局・滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県・京都市・大阪市・堺市・神戸市が調査主体となって実施しています。
回答結果について個人情報の取り扱いは大丈夫なのか？	ご記入いただきました調査票は、全て個人やその居住地が特定されない方法で、集計データとして処理します。決して個人データが公表されることはございません。
調査に協力しなければならぬのか？	強制的な調査ではございません。多くの皆様の動きを反映させていただき、将来のまちづくりや交通計画などを検討するための基礎資料として活用させていただきます。
調査対象者はどのように選んでいるのか？	近畿2府4県にお住まいの方から、対象となるご家族を無作為に選ばせていただきました。 なお、抽出にあたっては、公の手続きを踏んで、『住民基本台帳』から対象世帯を無作為に抽出させていただきました。
調査結果はいつわかるのか？	令和4年度に調査結果がまとまり次第、ホームページや記者発表を通じて公表いたします。

※ 本調査において、国や地方公共団体の職員、調査員等が調査の依頼や調査票回収のため、ご自宅への訪問や、電話・電子メールでの調査の依頼、個人や世帯の情報の聞き取りを行うことは絶対にありません。

統計調査をかたって世帯の情報等を搾取する行為にご注意ください。